

## 怒涛の7月！ スポ大、合唱、完全燃焼

### その君、 新編入るよね？

国語力増強、パソコン扱い上達  
 を保証します。ぜひいらして！

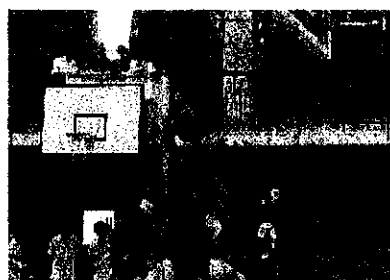
先日7月15日、今年度初のスポーツ大会が行われ、女子はバスケット、バレー、卓球、男子はバスケット、バレー、サッカーでクラス対抗の白熱した試合が行われた。

#### 感動の準決勝 バラグラグアイ戦再び？

女子バスケット準決勝2B対3Bの勝敗はフリースロー戦によって決まった。両者一歩も譲らず激しい攻防が繰り広げられ、前半戦、後半戦、延長戦、全てが同点で終了してしまつたので、球技大会にしては異例のフリースロー戦が行われることとなつたのである。あの日本中を沸かせたW杯日本VSバラグラグアイ戦を思い出した方も多かつたのではないだろうか。5人の選手がシュートをして、入った数を競うプレッシャーとの戦いで

#### スポ大結果 総合

- |    |        |
|----|--------|
| 1位 | 3B     |
| 2位 | 3A     |
| 3位 | 3C, 2B |
| 4位 | 2A     |
| 5位 | 2C     |
| 6位 | 1C     |
| 7位 | 1A, 1B |



ゴール下の攻防！

ある。先攻の3Bが先にシュートを1本決め、回ってきた、2B最後のフリースロー。そんな重圧の中2B選手が放つたボールは美しい放物線を描きゴールに吸い込まれた。「やった……」2Bの誰もがそう感じた。しかし抱き合つて喜びを分かち合うのも束の間、ラインを踏んだとことでシュートは無効となり、日本中ならぬ学校中を沸かせたこの感動の試合は3Bに軍配が上がつた。その瞬間両者選手とも、或いは嬉し泣き、或いは悔し泣きと、一斉に涙を流した。

余談だが試合終了後、2Bの選手は口々に「駒野選手の気持ち少しわかつた」と話した。あのような場面での重圧はきつと想像を絶するものなのである。

ちなみにこの試合を制した3Bは決勝へ進み、見事優勝を勝ち取つた。

#### 改めて…… 3年は強い！

#### 歌の祭典

7月16日(金)本校体育館で歌の祭典が開催された。審査員の先生が見守る中、各クラス素晴らしい歌声を披露してくれた。

結果3Aが最優秀賞を獲得し、同クラスの高川智弘くんが最優秀指揮者賞を勝ち取つた。



高川くんの指揮で歌う3A

今回の歌の祭典では、附属高校生の底力を見せつけられた思いだつた。期末テストが終わつてから約1週間しか練習期間がなかつたにも関わらず、これだけの合唱を作り上げられるのはすごいことだ。

講評の際に香田先生もおっしゃっていたが、本校に合唱部を創設すれば、毎年恒例のNHK合唱コンクールでもかなり健闘できるのではないかと。

三年生の歌声には、後輩たちも思わず聞き入つてしまつたかもしれない。「一詩人の最後の歌」「二世紀の君たちへ」「流浪の民」どの曲も決して簡単ではなく、合唱に全力で取り組もうという覚悟がクラス皆になければ、チャレンジすらできないものばかりだ。

特に、故郷エジプトを追われさまようジプシーの悲しみを語つた「流浪の民」は、古風な言い回しが難しい曲だ。しかし3Aのメンバーはその歌詞を理解し、感情をこめて見事に歌い上げた。また、去年に続き最優秀指揮者賞に輝いた高川くんの力も相当なものだ。体全体を使ってダイナミックに行われた指揮は、見る者に強い印象を残した。

一年生や二年生もそれぞれ健闘したが、やはり三年には遠く及ばないというのが正直なところ。だが、先輩たちの姿をみてそれぞれ学ぶこともあつただろう。それを来年の歌の祭典にいかせば良いのだ。あの歌唱力を披露した三年生もそうやってきたのだから。